

デートDVチェック

チェックが1つでもあった場合は、デートDVの関係にある可能性があります。思い当たることがあれば、信頼できる大人や相談機関(P8に記載)などに相談しましょう。

デートDVしていないかな？

- 相手が言うことをきかないとイライラする。
- 相手の行く先、服装、することなどを、指示したいと思う。
- 相手がどんな人と話しているかが、気になって仕方がない。
- 腹が立つと物をたたいたり、大きな声を出したりする。
- 自分のことを好きなら、嫌なことでも応じるべきだと思う。

デートDVされていないかな？

- 「バカ」「何もできないやつ」などと、傷つく言い方をされる。
- 相手との用事を最優先にしないと不機嫌になる。
- 携帯をチェックして「他の人のアドレスを消せ」と言われる。
- 相手を怖いと思うことがある。
- 「好きなら、いいだろう」と気が進まないことをさせようとする。

バクハツ期

突然に暴力をふるい始めます。多くは突発的で、殴る、蹴る、怒鳴る、物を投げつける、言葉の暴力で脅すなどの特徴があります。

イライラ期

次のバクハツ期に向かって内面にストレスを溜めている期間です。不機嫌になる、すぐ怒る、責める、口論するなどの特徴があります。

ハネムーン期

暴力によってストレスが発散された状態です。反省、謝罪、弁解の言葉やプレゼントをくれたりするなどの特徴があります。

暴力のサイクル

暴力は、このようなサイクルを繰り返しながら、徐々にエスカレートしていきと言われています。そのサイクルの中で期間がだんだん短くなることで、暴力も激しくなっていく傾向があります。

リベンジポルノって？

離婚した元配偶者や別れた元恋人の裸の写真・動画などを、インターネット上に流出させる嫌がらせ行為のことで、デジタル暴力とも言います。カメラやビデオ機能が付いた機器が普及したことで、個人が撮影とインターネット投稿を手軽に行える環境となっていることが、潜在的にリベンジポルノ問題を起しやすくなる要因の一つとなっています。



かにしたようなことを言ったり、髪型や服装、交遊先などを制限したりすることも、精神的な暴力になります。

若い恋人同士の間では、そういう相手からの行動を、「自分のことを好きだからこそその行動」と受け止めたり、「自分のせいで怒らせてしまった」と我慢してしまうことがあります。また、加害者側も、自身の言動が、デートDVの要素を含んでいることに気付いていないことも少なくありません。まずは、デートDVについての正しい知識を多くの若い世代が知っておくことが大切なのです。

暴力と支配の関係を読み解こう

デートDVとケンカは異なるものです。ケンカは対等な関係で起こることが多いものですが、暴力は力の差があるところに起こります。デートDVの被害者が男性のケースもありますが、多くは女性です。物事を暴力によって支配しようとする考え方の根底には、自分を強く見せたい、男性は強くあるべき、といった性別による偏った考え(ジェンダーバイアス)があるのかもしれないです。一人ひとりが互いに相手を認め合える、暴力のない社会を目指していきましょう。

「大田区配偶者暴力の防止及び被害者保護等のための計画」を策定

大田区における配偶者暴力の防止及び被害者の保護のための基本計画です。

区では、配偶者暴力対策の取り組みを促進するため、平成27年3月「大田区配偶者暴力の防止及び被害者保護等のための計画」を策定しました。今後は、この計画に基づき、暴力防止に向けた意識啓発や早期発見、被害者の保護及び自立支援に取り組んでまいります。また、東京都や他区市町村、関係機関と緊密に連携を図りながら、計画を着実に推進し、暴力のない社会の実現を目指します。



パステル おすすめ本

「それ、恋愛じゃなくてDVです」

瀧田信之著・藤原千尋構成
WAVE出版

「愛しているからこそ束縛する」は恋愛ではありません。恋人同士の会話などを例に、「デートDV」をわかりやすく理解できる1冊です。

▶ エセナおおたの図書コーナーにて貸出しています。

